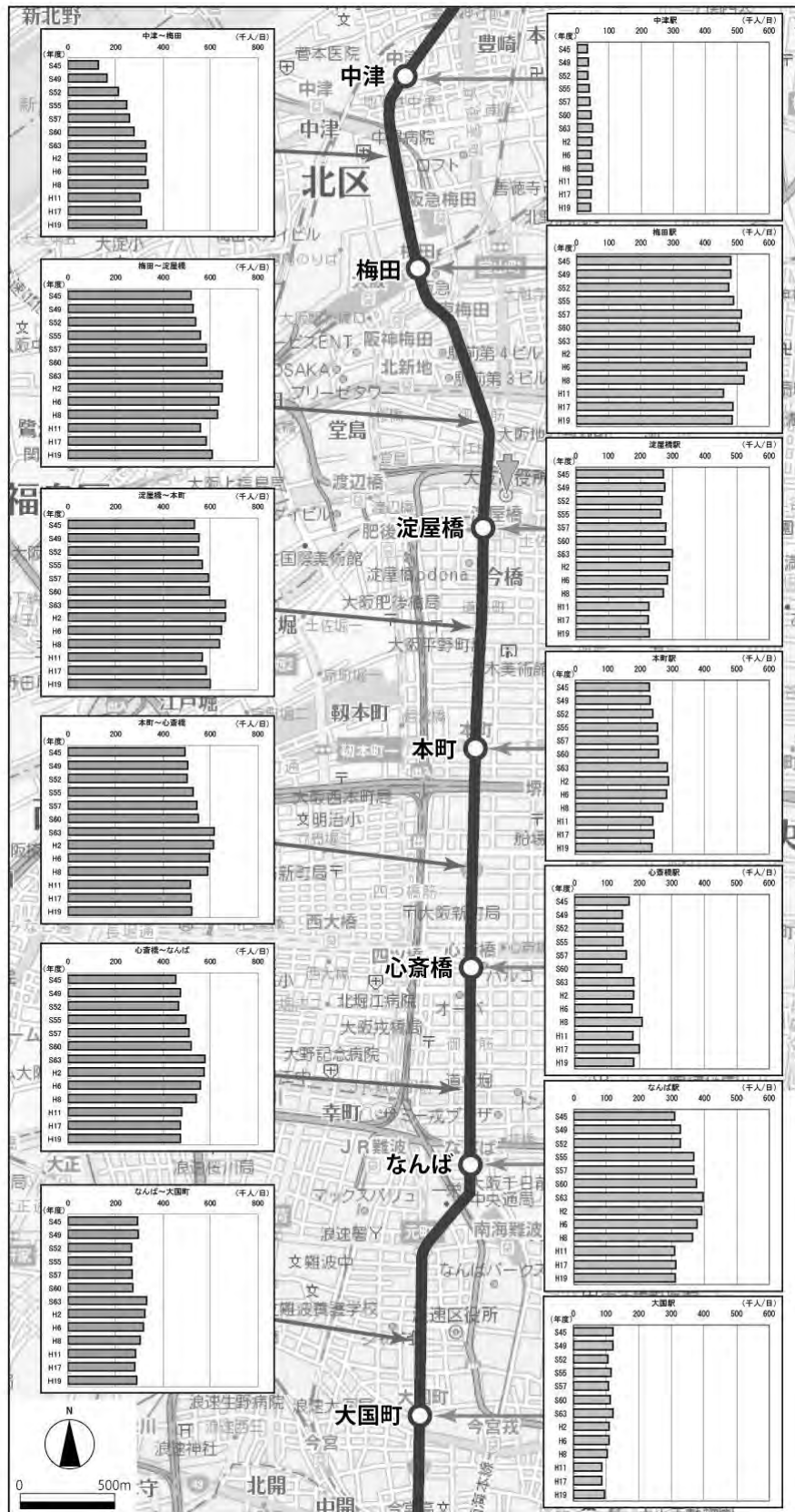


⑥ 地下鉄利用者の推移

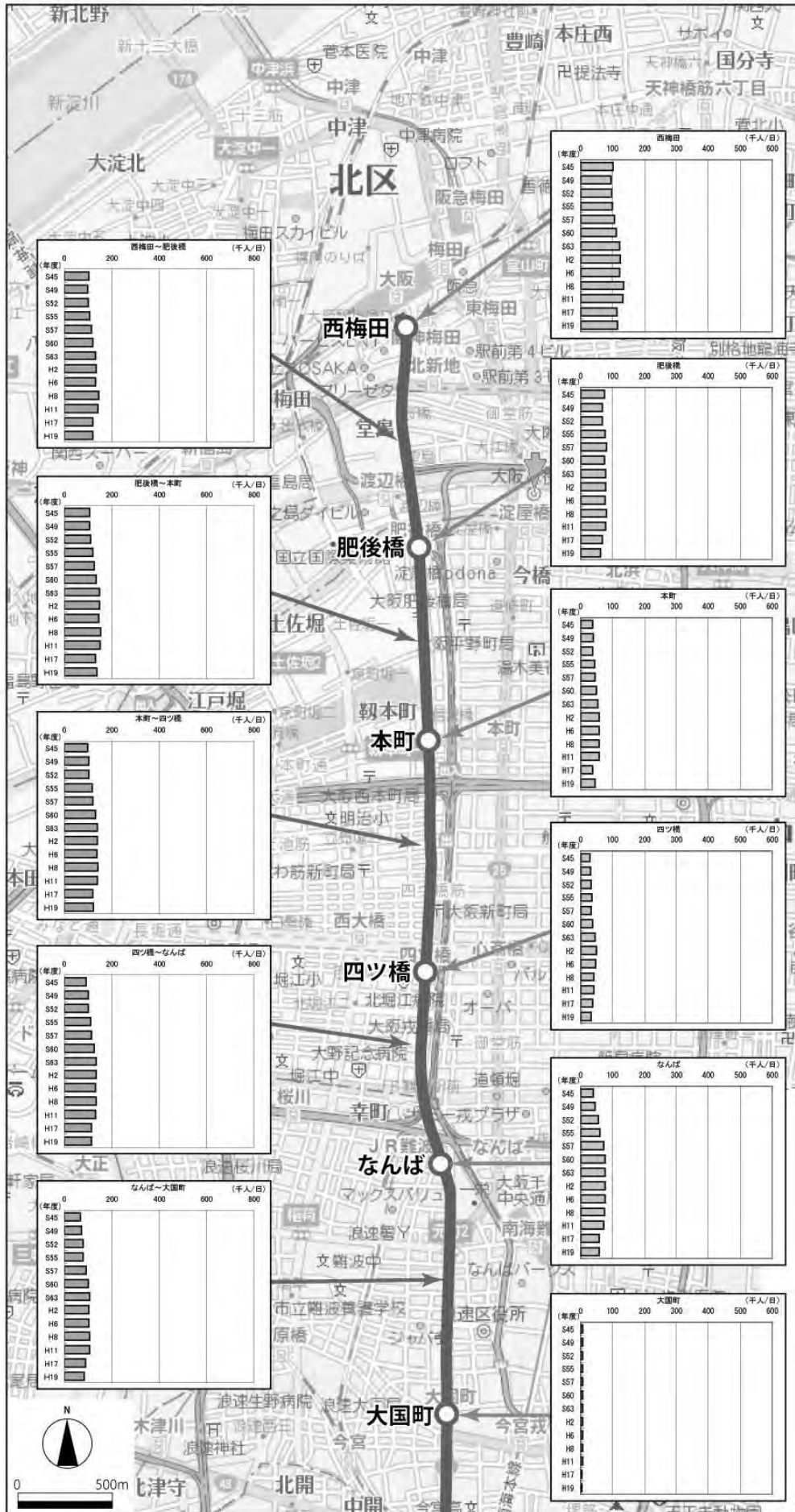
- 地下鉄御堂筋線に並行する路線である四ツ橋線及び堺筋線の各駅の乗降客数を比較すると、御堂筋線（約 500 千/日）に比べ少ない（四ツ橋：約 100 千/日、堺筋：約 100 千/日）。

図 地下鉄御堂筋線の利用客の推移



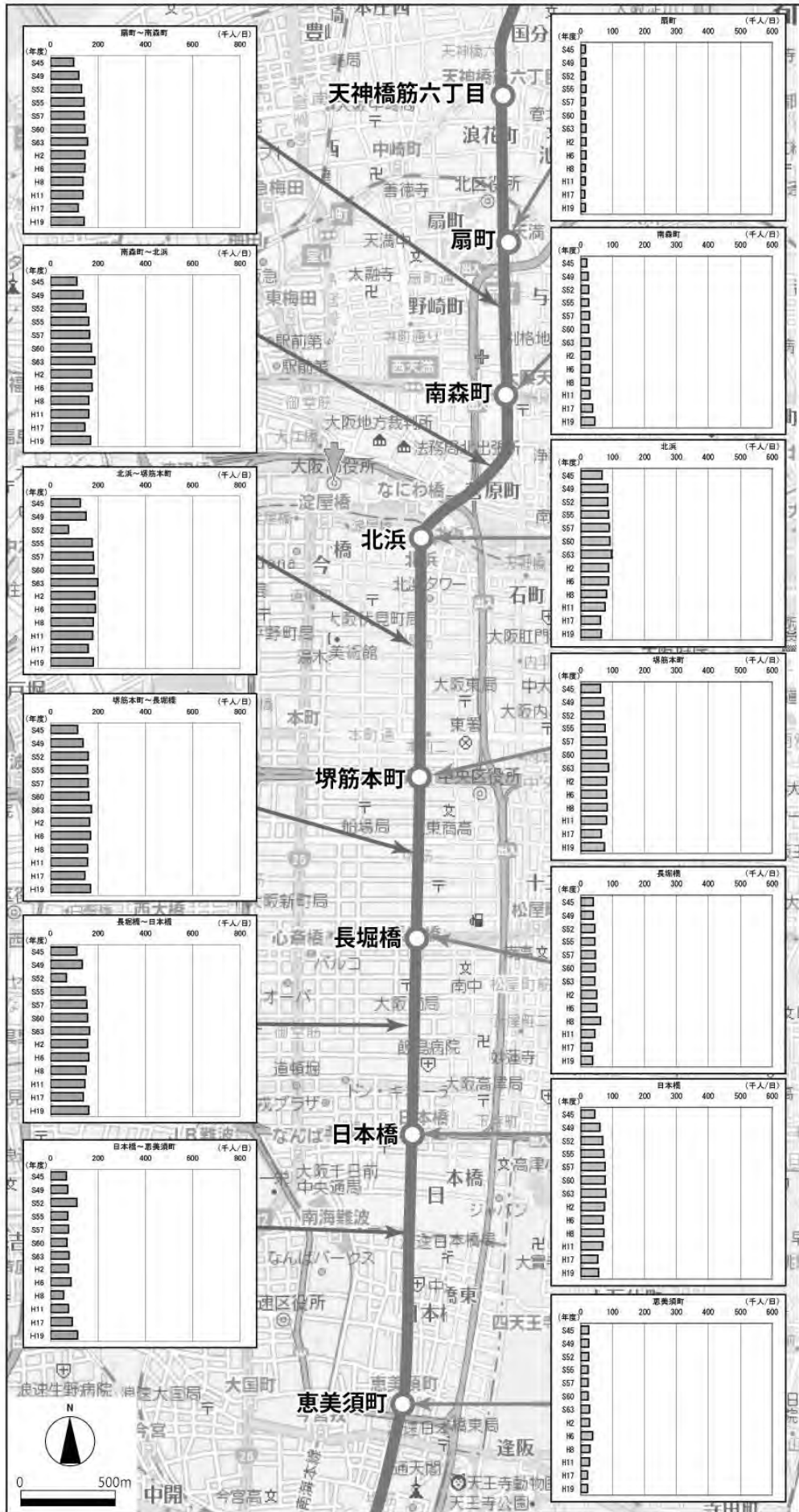
資料：「都市交通年報」（S45～H9（財）運輸経済研究センター、H10～（財）運輸政策研究機構）

図 地下鉄四ツ橋線の利用客の推移



資料：「都市交通年報」(S45～H9(財)運輸経済研究センター、H10～(財)運輸政策研究機構)

図 地下鉄堺筋線の利用客の推移



資料：「都市交通年報」(S45～H9(財)運輸経済研究センター、H10～(財)運輸政策研究機構)

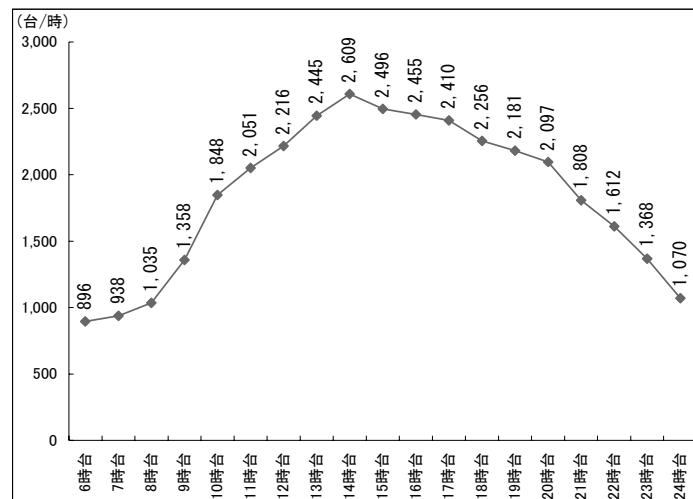
(4) 路上駐輪

- ・ 淀屋橋～難波西口交差点間における延べ駐輪台数は6,690台/18hである。
- ・ 御堂筋では午前中から夜間まで、常時多くの路上駐輪がある。
- ・ 特に大丸百貨店前～難波交差点間で多く見られる。

① 時間帯別路上駐輪台数

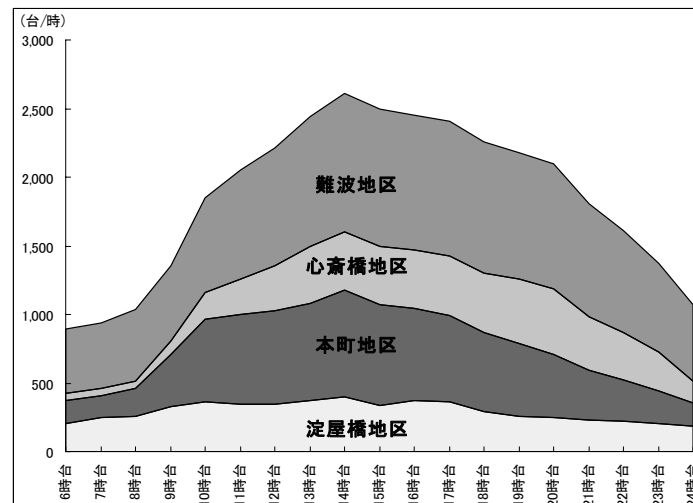
- 淀屋橋～難波西口交差点間における平日の路上駐輪台数を見ると、約6,700台/18時間の路上駐輪がある。
- 当該区間の最大瞬間路上駐輪台数の時刻帯推移を見ると、11～20時台で常時2,000台/時以上となっており、午前中から夜間まで多数の路上駐輪があることが伺える。
- 特に、難波地区（道頓堀北詰～難波西口交差点間）が多く、次いで本町地区（平野町3～新橋交差点間）が多くなっている。

図 平日の御堂筋（淀屋橋～難波西口交差点間）における地区別最大瞬間路上駐輪台数



資料：大阪国道事務所独自調査(H19)

図 平日の御堂筋（淀屋橋～難波西口交差点間）における地区別最大瞬間路上駐輪台数

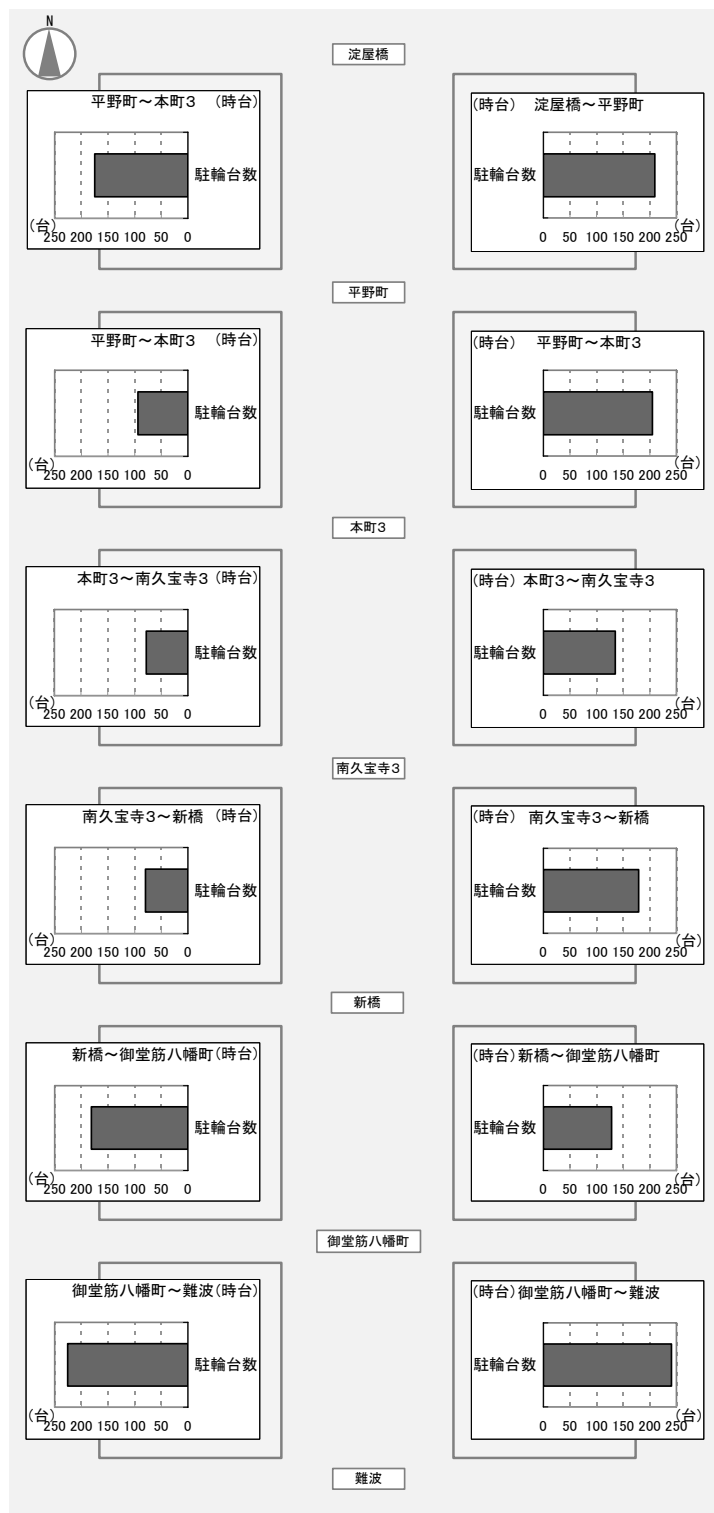


資料：大阪国道事務所独自調査(H19)

② 街区別最大瞬間路上駐輪台数

- 御堂筋の緩速車線における平日の最大瞬間路上駐輪台数は、駐停車車両と同様に淀屋橋～新橋交差点においては、沿道土地利用が三井住友銀行をはじめとする各種銀行や業務系の街区において、最大瞬間路上駐輪台数が多くなっている。
- また、新橋交差点以南においては、近鉄難波ビル付近で最も最大瞬間路上駐輪台数が多くなっている。

図 御堂筋における平日の最大瞬間路上駐輪台数



資料：大阪国道事務所独自調査(H19)

図 御堂筋における平日の最大瞬間路上駐輪台数(淀屋橋地区)



資料：大阪国道事務所独自調査(H19)